



、他の神々の上位にその月の神を崇 したという は何一つ残されていません。

その一方で、アラビア半 の全域において、太 が女神として崇 されていた は残されています。太 (シャムス) はアラブ人部族のいくつかによって崇敬され、祠や偶像が けられていました。アブド シャムス (太 のしもべ) という名は、アラビア半 の多くの地域で 出されています。北部ではアムリ シャムス (太 の男) という名が一般的にあり、アブドゥ=シャルク (昇りのしもべ) は日の昇りを崇 していたこと です。

言者ムハンマドの叔父の一人の名はアブド シャムスでしたし、アブ フライラという 称で知られる、ムスリム第一世代の著名なイスラ ム学者の本名もそうでした。アブ フライラがイスラ ムに改宗した 、言者ムハンマドは彼の名をアブドゥ=ラフマ ン (最も慈悲深き御方のしもべ) と改名させました。

ムスリムたちは、 造の始まり以来、アッラ が人 を き、教えを くために 使徒 言者を遣わしたことを一片の疑いなく信じています。それゆえ、人 にとっての元来の宗教はアッラ への服 なのです。アラブ人たちも元々アッラ を崇 していましたが、 の と共に彼らの崇 は人の手によって作られた概念や迷信によって腐 していきました。その理由は の と共に分からなくなってしまいました。おそらく彼らはノアの民が行っていたような偶像崇 につてしまったものと られています。

言者ノアの子 は、アッラ の唯一性を信じるひとつの共同体だったものの、彼らに混乱と逸脱が忍び寄りました。

な人々は、人々にアッラ への を思い起こさせようとしたが、 が つとサタンは人々を墮落させる 会を 出しました。 な人々が死ぬと、サタンは彼らの を 念する 像を打ち立てるよう人々に きかけました。

人々は公共の や家々の中に 像を造り、人々がそれらの 像が造られた理由を忘れてしまいうまでサタンは彼らを放っておきました。 年の月日が流れ、 いサタンは人々の元 に り、それらの 像を直接崇 するよう唆し始めました。言者ムハンマドにまつわる真正の 承には、以下のような偶像崇 の起源を要 したものがあります。





<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2871>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。